住民ギセイの水道料金値上げ反対

公共料金値上げ反対対策委員会発足

市内4カ所で行われた水道料金値上げ反対の街頭署名活動

消費者米価をはじめ、公共料金の値上げなど上がらぬものはないほどです。そして私たちの生活から切りはなすことのできない水が値上げになりそうです。

円仏大牟田市長は、三月議会で水道料金値上げ六〇%を三月一一日に提案しました。

市当局の値上げ理由

①大牟田市での給水は今後五カ年間に、二千二百九十戸を増加する。このために年間四九万四千トンの給水量が増加するので、この給水量を確保するための施設費用。

②営業費用の中で、人件費、物件費等の直接経費が大幅に増加する。

③給水区域内の配水管の整備や老朽管のとり替えも必要である。

④拡張工事にようする政府借入金の元利を償還するため。

料金値上げの幅はどうか

市当局は七三%以上値上げしないと、四四年度まで維持できないと説明しています。(別表参照)

現在一般家庭の一戸平均の使用量は約一五トンで料金は三百二五円ですが、七五%値上げになると五百七〇円になり、二百四五円の値上げになります。

しかも三井が使う工業用水は、現在トン当り一一円九七銭を新産都市計画では三分の一の四円にするそうです。

諸物価の値上げをよぶ

水道料金が値上げになれば、風呂代やクリーニング、理髪、パーマ、トーフなどの食品はもちろんのこと、その他の物価に影響し、一カ月に最低千円以上はすぐ支出の増加になり、いまでさえ食費をきりつめ、家計の"やりくり"に頭をかかえているのに、これ以上値上げになれば人間らしい生活などますますほど遠いものになります。

値上げ反対の斗いを

大地評は春斗の大幅賃上げ斗争の地域での斗いの一かんとして、水道料金値上げにするどく対決することになり、早速二月一七日に各単産委員長をもって「反対対策委員会」が発足して、斗いがすすめられています。当面

①職場内の署名を三月一六日までに集約する。

②一般市民に対する宣伝活動をはじめ、一四日に市内四カ所で署名活動をする。

③三月一一日には、地評傘下の主婦会代表による請願行動。

④三月一六日午後五時、笹林公園で公共料金値上げ反対の一万名集会。

を実施した。

物価は昨年から家計の支出において一人当り一、〇〇〇円の増加をみており、さらに産業基盤の水道料金値上げは諸物価の値上げを誘発して、ますます生活苦を労仂者に与えるために絶対に許されないものです。水道料金値上げ反対運動も福岡市、久留米市をはじめその他の都市では撤回させる成果をおさめていますが、大牟田市はとくに三井のヒモツキ円仏市長態勢下の斗いだけに容易なものではないだろうが、一般市民はもちろん大衆の反対要求がたかまっています。三池労組では教宣活動を強化するとともに、地域から校区ごとに第二組合員も含めて請願行動を開始する方針です。

種別	区分	基本水量	現行料金	値上げになった場合 50%	70%	75%
		トン	円	円	円	円
一般用	定量	10	200	300	340	350
	超過	1	25	38	43	44
営業用	定量	10	190	285	323	333
	超過	1	30	45	51	53
浴場用	定量	200	2,600	3,900	4,420	4,550
	超過	1	15	23	26	27
船舶用			40	60	68	70
共用	定量	5	100	150	170	175
	超過	1	22	33	38	39

弁当たべたべ

仕事させられた昔

三川支部　芝尾忠次さん

私は昭和一五年に入社して二五年勤続になります。入社当時は万田鉱でしたが、本線運搬は昭和二一～二年ごろまで二交替制で作業量が多かったですね。弁当たべる時間もないようにして仕事したものです。休憩所もないし、昭和二八年の企斗後それらがきちんとなりました。

いま第二組合員は切羽で、マイトをうったらすぐ仕事にかかっていますが、一五分おいて仕事にかかるのが本当なんですよ。むかしがそうでしたね。本当にあぶないですよいくら会社に協力している第二組合でも、災害がよけて通るわけじゃなし、あぶないことには変りありません。

いま三池労組を差別して悪い個所に繰込んでいますね。おなじ仕事をしても歩増しを低くつけて差別し、組夫や第二組合員の経験の浅い者でも先山にして、私たちを後向きにしています。仕事するのはこちらができるんですよ。

いろんな差別をやっていますが、本当に人間の考えることじゃないですね常識で考えられないようなことでも、職制の権力で、平気でおこなわれているのですからあきれます。

これは第一組合だけでなく労仂者を人間あつかいしてないからですよ。

深まるアジアの危機

無謀な戦争拡大へ

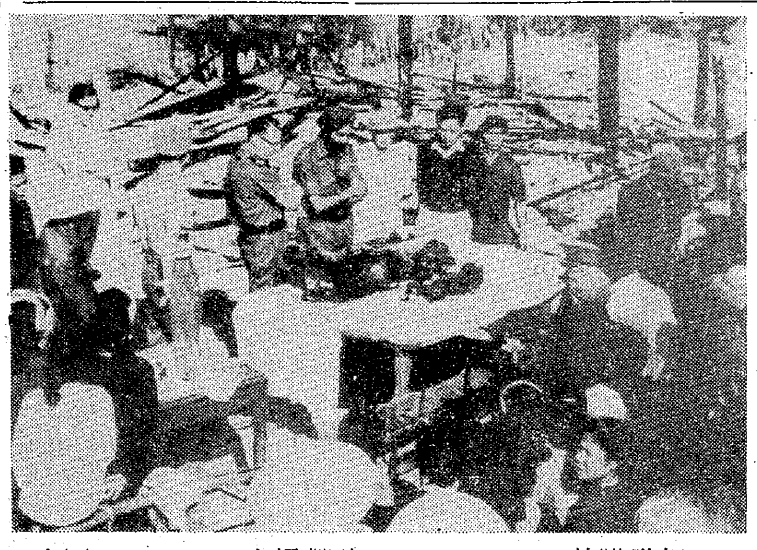
米軍　北ベトナムを連続爆撃

【KNA】アメリカは三月二日四度目の北ベトナム爆撃を行なったが、これはアメリカによる計画的な"北進"の一環とみられ、インドシナをめぐる情勢はきわめて重大な事態にはいった。

こんどの北ベトナム爆撃はアメリカおよび南ベトナムかいらい軍の戦斗機、爆撃機のべ百六十機以上によって行なわれ、クワンケとソンバンの二つの町が攻撃目標となった。この爆撃には米F一〇〇とF一〇五両戦斗爆撃機およびB五七キャンベラ爆撃機も参加した

これについて米国務省は三日、「北ベトナムに対する米空軍の爆撃は"北ベトナムの武力侵略"に対抗するアメリカおよび南ベトナム政府による"集団防衛"に当たるものである」との政府声明を発表した。これよりさきの二月二十七日、アメリカ国務省は"ベトナム白書"として、北ベトナムが兵員の訓練、武器の供給、情報活動その他の分野でいわゆる"ベトコン"にさまざまな援助を与え"侵略"している"証拠"を発表したしかし"北ベトナム"が南ベトナムに干渉、侵略している根拠は全く薄弱で、アメリカのモーゲンソー・シカゴ大学教授は「米政府はわずか二週間前には『このたたかいは外部勢力に後押しされた内戦であり、戦争はまず南において勝たねばならない』と主張されていた。ところがつい最近になって、これは内戦ではなく、北ベトナムの侵略であるというふうに変わってきた」と米政府を批判しているまたいわゆるベトコンの武器の大部分がアメリカの兵器であることはバーチエットなどの多くのジャーナリストによって広く伝えられている。これらの事実から、白書発表の狙いが、でたらめな証拠と中傷によって白を黒といいくるめ南北ベトナムに対する米国の侵略政策、戦争政策を弁護し、アジアでの戦争を拡大強化しようとするアメリカの新たな冒険のために、世論をデッチあげようとしていることは明らかだ。アメリカの第四次北ベトナム爆撃が"白書"発表の直後に行なわれたことは決して偶然ではない。

アメリカは七日以降第七艦隊の海兵隊二個大隊をダナンに上陸させ、無謀な戦争拡大をつづけている。だが米海兵隊は沖縄を基地にしており、沖縄が南北ベトナムに対するアメリカの重要な侵略基地となっていることは明らかだ。しかも佐藤政府はアメリカの北ベトナム侵略行動を全面的に支持しており、その戦争政策はアジア人民の怒りをかっている。



米軍のドンホイ市爆撃跡をみるベトナム休戦監視国際委員会の代表たち

三池労組を訪ねて

東交新宿大久保　小林和明

三池という異口同音にすばらしいと、三池に行った人はいいます。私も、三池に対するいろいろの資料や本を読んで、本当にすばらしいと思いました。

三池斗争以来、組織分裂により三池労組は人数的に第二組合の約半数の三、四〇〇名になりながらも統一・団結・抵抗によって労仂者の根性を資本に向ってかしゃくなくぶっつけている姿をみて、それを支えている五人組、主婦会、組合民主主義そして正しい指導路線などを直接学びとりたくなりました。

私たちの職場ではいまきびしい合理化攻撃によって、賃金の切下げ、労仂条件の悪化、既得権のはく奪、さらに組合活動の規制、職制からの思想攻撃がかけられています。このような情勢の中で、職場では活動家不足が目立ち、組合の合理化対策のあいまいさ、指導路線の誤ちなどがあって、大衆は斗う意欲を欠き、斗いから逃げて利己的になりつつあります。これを打ちやぶるにはどうしたらいいのか、私は何をしたらよいのかと考えました。

そのカベを打ち破るには「三池に行け！」と仲間がいってくれたのです。一月二三～二五日までの三日間、朝早くから夜遅くまで、一人でも多くの三池の仲間と、私がもってきた問題を話し合い、自分の職場に持ち帰ったときにそれをいかに活用していくかを学びました。

集会に集まった人たちと話しているうちに、いつしか三池の一員であるかのような気がしてきました。これは三池の実体のすばらしさにとうすいしてしまったのではありません。三池の人たちの人間性のすばらしさに、無意識のうちに引き込まれ、同化してしまったのです。初対面の私をこのようにさせる力はどこにあるか考えてみました。

同じ労仂者だからなのか。斗いの経験があるからなのか。理論があるからなのか。三池の人たちはこれらすべてをもって、なおかつ常にたゆまざる努力がなされていることを知りました。人間性の追及、それが労仂者を強くするのだ。労仂者の根性が培ちかわれ、資本主義の矛盾をあばいて資本に対して徹底的に対決して（抵抗して）いくことのできる力の根源なのだと自から知らされました。

帰京以来私は、三池で学びえたものを自己の確立のために、組合の発展のために、労仂者の社会（社会主義社会）建設のために、最大限にいかそうと決心をしました。

私は今後の活動の中で、カベに再びぶっつかったならば、再び「三池」へ行こう！

最後に、大変忙がしい中で、心から暖かく迎えて下さった三池労組員、ならびに家族の方々、また「三池に学ぶ会」に私たちを参加させるべく、同志的に支援カンパをして下さった支部員の皆さんに感謝するとともに、三池で学び得たものを皆さんの期待にそむくことなく、こたえていくことを誓いします。

東京都世田谷区　太子堂町二三二